

# 補助金チェックシート(既存)

作成年度:令和5年度

## 1. 補助金の内容

補助金名称	新生児聴覚検査補助金			補助金番号	D1-13
所管部署	健康福祉部 健康寿命推進室 母子保健課				
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市新生児聴覚検査の実施等に関する要綱(平成30年枚方市要綱第63号)				
交付の目的	新生児聴覚検査の受診対象者が、委託医療機関以外で検査を受けた場合に、当該検査に要した費用の額の補助金を交付し、保護者の経済的負担を軽減することで、新生児聴覚検査の受診率の向上を図り、母子保健の向上に資することを目的とする。				
補助対象経費	新生児聴覚検査費用				
補助率・補助額	その他				
交付先	個人				
開始年度	平成30 年度	終期年度	年度	サンセット期日	令和8 年度末
補助金性質分類	制度的補助	○	団体運営補助	事業費補助	その他
法令等での義務付け	なし	法令等名称			

## 2. 補助金の予算・決算等

(千円)

	R2	R3	R4	R5
予算額	2,024	1,386	1,386	1,386
決算額	839	874	746	/
特定財源	国庫支出金			
	府支出金			
	その他			
一般財源	839	874	746	

(件)

交付実績	169	177	141	
------	-----	-----	-----	--

## 3. 補助金の見直し

### ①補助金交付の基本的な視点(いずれかが不適合の場合は「廃止」もしくは「改善」)

視点	チェックポイント	チェック	理由・詳細等 (不適合の場合は対応案・改善策を記入)
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓	新生児の保護者(産婦)の市民を対象とする。
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓	子どもたちが健やかに育つことができるまちの施策目標の達成に必要な不可欠な補助金である。
	現在の社会経済情勢においてニーズが高い又は高いニーズが見込まれる。(ニーズを把握している)	✓	母子保健法に基づく健診であり、その必要性が高く、実際の受診率も高い。
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。(具体的な効果測定方法が確保されている)	✓	聴覚検査の実施により、異常の早期発見、早期療育につながっている。
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓	新生児聴覚検査は取扱医療機関で実施されているため、補助金交付が最も適正で効果的な方法である。
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓	新生児の保護者(産婦)の市民を対象とする。

妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓	必要な検査料とする上限を定めている。
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。(補助金交付要綱の整備など。)	✓	交付要綱に定めている。
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できる。(ホームページでの補助制度の公表など)	✓	交付要綱を市のホームページにて公表している。

## ②補助金性質分類別の視点

### [制度的補助]

該当	チェックポイント	チェック	理由・詳細等 (不適合の場合は対応案・改善策を記入)
○	国や府の法令等に基づく補助金であり、現在も制度が継続している。	✓	母子保健法第13条に基づく検査であり、市町村が実施または勧奨するとされている。
	市単独の上乗せ等を行っていない。	✓	検査費用以外の上乗せを行っていない。

## 4. 補助金の今後の方向性

方向性	現状のまま継続
上記方向性を 選択した理由	母子保健法第13条に基づき実施している。里帰り出産などで、他市においても受検できる環境を整備しておくことは、子どもたちが健やかに育つことができるまちの施策目標の達成に不可欠であり、現状のまま継続とする。
対応完了・廃止予定時期	